

旅行報告

韓国 国会内での記者会見

在日外国人教員への差別撤廃にむけて

小西和治

「困った時の『むくげ』頼み」。今回の記者会見が実現できたのも、むくげの会関係の皆様の情報とネットワークの賜物であった。感謝の意を込めて、その顛末を報告したい。

はじめに差別があった

昨年4月に兵庫県立高校で、今年度の初めには神戸市立中学で、在日コリアンの教員が、今まで就任していた学校内の主任や副主任の職を剥奪される事件が相次いで発生した。

これを、在日外国人への差別事件ととらえて飛田さん等が呼びかけ人となって、当事者・学者・弁護士・教員グループが集まり対策会議が開催された。差別を座視すれば、差別は拡大再生産されていくのでは・・・と様々な対応策が協議されたが、訪韓し世論や政府に訴えてみたら、という話もその会議の直後の立ち話の中から生まれた。まず、この差別事件を韓国社会に知っていただくために当事者がソウルで記者会見することを考えた。

似て非なるもの・・・韓日の記者会見

日本の場合は、行政機関には記者クラブがあり、当番の幹事新聞社に連絡すると、マスコミが話を聞いてくれる。ところが、韓国にはそんな制度がない。自分で確保した会議室等に、懇意にしている記者を招待して報道資料を提供するのが基本であるという。勿論これが報道の本筋だろうと思う。

そこで、韓国マスコミに知人がいる皆様に事件の概要を報告し、記者の紹介をお願いする作業を始めた。その中で、神戸で働いた事もあるソウルの学校教員から国会内の記者会



韓国国会内記者会見 08.10.28

見実現に努力してみるとの返信をいただいた。ただ、会見

を主催出来るのは国会議員のみなので、自分の問題にしてくれる議員を探すとの事である。また、記者会見が実現しても自由参加なので参集記者を集めてほしいとの依頼も受けた。

まあ「始まりが半分」とばかりに、当事者の韓裕治さんと支援者3人で訪韓を決めた。

ネットワークに支えられて



全教組役員と懇談 08.10.27

山根さんの知人でもあるソウルの高校日本語教員は、韓国全教組(日教組の友好団体)を紹介してくれ、

自ら懇談会の通訳も引き受けてくれた。後で聞くと彼女は組合員ではあるが、組合本部を訪問するのも、委員長と会うのも初めてだったとか。神戸の在日コリアンの保護者は、挺身隊対策協議会を紹介してくださった。これらの団体の代表者は私たちの話を聞き、今度の記者会見をマスコミに紹介し、取材要請をしてくれた。また、私たちの取り組みに共感し、今後の協力も約束してくれた。一方、「むくげ」関係の皆様の声掛けもあって、記者会見場には、テレビ局5社、新聞社約30社の参集を得ることができた(左欄の写真参照)。



挺身隊協役員と懇談 08.10.27

緊張の記者会見・・・KINの仲介で実現
記者会見が出来ることが決まったのは10

月26日。議員の仲介に奔走してくれたのはソウルのKINという市民団体。このグループの中心目的は在外韓国人を支援する事であり、Korean International Network(地球村同胞連帯)が正式名称。「自発的な参加を基にした市民のネットワークで国内外同胞間の相互交流と協力を通じ、各国同胞社会の平和と人権の実現を目指」している。

京都のウトロ問題では韓国社会を動かし、ウトロ住民支援のため韓国政府の土地買い取り資金として30億ウォン(約3億6千万円)の支援させる中心的な役割を果たしたことで有名である。この団体を通じて、弁護士出身の女性国会議員である、李ジョンヒさんを紹介していただき、彼女の発表を補足するという名目で日本からの4人が国会内に入れることになった。



韓国国会正門前・汝矣島(ヨイド) 08.10.28

私は、国会の中枢部に入るのは今回が初めての経験であるが、警備の厳しさに度肝を抜かれた。住民登録証かパスポートは受付に退出時まで預けたままであり、その一点だけで緊張してしまう。しかし、発表者の韓裕治・藤川・池田各氏と小西は、本番に強く緊張は発表内容を豊かにする働きをしたようである。

マスコミ報道と今後の活動

報道は、27日(前日)のマスコミ関係者向けの記者会見予告記事掲載にはじまった。28日

대한민국 통일위원회

여의도통신

'91 (43) .15

가 “ 가

가 4 3

“ ”

가 . . . 가

재일한국인 교원 부당인사조치에 대한 기자회견

행사 및 장소: 2008년 10월 28일(수) 오전 10시 / 여의도 일신관 주최: 재일한국인교원총연맹, 한국노총
 후원: 일교재단, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총, 한국노총

汝矣島通信の記事冒頭 「在日韓国人生徒の希望の星を落とすな」

の記者会見を受けて、通信社では連合通信と汝矣島通信(国会関係団体と地方紙と連携)が配信し、全国紙はハンギョレ新聞が大きな記事にした。また、TV放送キ局が全国ニュースで流したということである。そして、韓国社会の報道で大きな役割を果たしている、インターネット新聞三社も写真入りで取り上げていただけだ。現在、
 ・韓裕治&
 ・神戸をネット検索すると167件がヒットする。

韓国社会が在日コリアンの歴史や状況に無理解であるというのは過去の話で、現在はかなり変化してきているという印象を受けた。

その後、李ジョンヒ議員からの韓国政府に質問していただき「在日韓国人教員・中略・国籍を理由にしたこのような差別が撤廃されるように日本政府を説得していこうと思っている」との公式回答も得ることができた。

来年早々には、KINの裴徳鎬(ペドッコ)代表をソウルからお招きし、1月12日(休日)の15:00~17:00に、神戸駅前のクリスタタワービル6階で公開講演会を予定している。「むくげ」読者の皆様のご参集をお願いしたい。